

「マイ非常用持ち出しバッグをつくろう！」

本単元で育成する資質・能力

スキルアップ, 表現力, 協働

- 1 日時 令和4年 11月 1日 5校時
 2 場所 2年 1組 教室
 3 学級 第2学年1組 38名(男子20名 女子18名)

単元について

本単元は、第2学年の総合的な学習の時間の中で、「地域」「防災・減災」をテーマに実施する単元である。『中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総合的な学習の時間編』には、総合的な学習の時間の目標を達成するにふさわしい探究課題として4点示されており、そのうちの「地域や学校の特色に応じた課題」として、本単元を設定した。

熊野町は、平成30年7月豪雨の際に甚大な被害を受けた。本校にも被災し、しばらく避難所生活を送った生徒がいる。日本では毎年のように地震、大雨などの大きな自然災害が発生し、それに伴い多くの被害がもたらされている。そのような状況の中で、被災の記憶を風化させず、いつ再び起こるかかわからない災害に備えるとともに、いざというときに確実に命を守る行動をとる力を身に付けさせることが必要である。また生徒が生活している地域において、防災・減災について、生徒自身が自己の生き方との関わりで考え、よりよい解決に向けて地域社会で行動していくことは、地域全体の願いでもある。本単元を通じて、普段から災害に備える行動をとり、災害時には迅速に避難することによって自分や身近な人たちの命を守るとともに、地域全体の防災・減災の担い手として行動できる力を育成したい。

生徒の実態

次の表は、本校で定期的に行っている生徒質問紙において、本校で育成する資質・能力および総合的な学習の時間に関わる項目について本学級の生徒の回答を抜粋したものである。

【令和4年度9月実施 31人回答】

質問項目 (括弧内は、本校で育成する資質・能力)	肯定的回答(人)		否定的回答(人)		肯定的回答(%)	否定的回答(%)
	よく当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない		
「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいます。	6	16	6	3	71.0%	29.0%
授業や勉強をするときに、各教科の知識・技能がスキルアップできるように意識しています。(スキルアップ)	7	12	9	3	61.3%	38.7%
自分の特徴や長所・短所を客観的に好意的に見取り、成長のために何が必要か考えていると思います。(自己分析)	10	9	6	6	61.3%	38.7%
自分で考えたことを、相手にわかりやすく伝えていると思います。(表現力)	9	11	7	4	64.5%	35.5%

自分の思いや考えを，自分の言葉や作品で表すことができていると思います。(表現力)	9	7	12	3	51.6%	48.4%
自他の考えを客観的に分析し，他者の考えを取り入れながら多角的・多面的に考えていると思います。(クリティカルシンキング)	7	13	8	3	64.5%	35.5%
友人同士や教員，地域社会など対話的な活動を行いながら，協働する態度や姿勢を持っていると思います。(協働)	10	15	4	2	80.6%	19.4%
何事に対しても，主体的に意欲的に取り組み，チャレンジ精神を持っていると思います。(前向き)	9	14	6	2	74.2%	25.8%

総合的な学習の時間に限らず，本学級の生徒の多くが意欲的に授業に参加している。とくに班活動を仕組むと，積極的に意見を出し合い，協力して課題解決に取り組む姿が見られる。総合的な学習の時間においても，タブレット端末も活用しながら情報を集め整理したり，スライドにまとめ発表したりするなどの活動に取り組んでいる。アンケートの結果からも，「協働」の項目で肯定的評価が高くなっていることがわかる。しかしながらアンケートの総合的な学習の時間についての項目では，肯定的評価が71.0%と8割に達していない。単元終了後に行う次回のアンケートで検証するものとする。

本校で育成する6つの資質・能力について，もっとも肯定的評価の割合が低かったのが「表現力」についての質問項目である。とくに，自分の思いや考えを自分の言葉や作品で表現することに苦手意識があることが窺える。本学級の生徒は，自分の考えをワークシート等にまとめる力は身に付きつつあり，その多くが求められる内容を文章で説明することができる。しかしながら，学級全体に個人で自分の意見を説明することには苦手意識を持ち，自分から発表することに抵抗を感じている生徒も多い。授業内では発言させる前に班で確認させるなどの支援を行うとともに，小グループで協力して活動し，協働して発表準備を進めることが得意な点を生かしながら，総合的な学習の時間のみならず，他の教科や生徒会活動等，教育活動全体を通して，表現力の育成に取り組んでいく必要がある。

単元の指導

今年度の本校の研究テーマ「主体的・対話的に深く学ぶ生徒の育成～探究的な学習を通して～」，および，第一小学校・第三小学校と合同で取り組む令和4年度探究的な学習の在り方に関する研究推進地域事業の研究テーマ「地域を題材とした単元における表現力の育成～ルーブリックの活用を通して～」を受けて，次の3点に重点を置いて指導を行う。

第一に，地域を題材とし，小中学校で系統性を持たせた単元とすることである。「防災・減災」に関わる学習は，小学校段階でも取り組まれている。そこで中学校段階では，小学校での学習をふまえ，自助・共助・公助の視点を持たせながら，より発展的・実践的な学習となるよう単元を構想した。本単元では実際の「避難行動」に焦点化し，迅速に避難することができるよう普段からの避難準備を促すとともに，実際に指定避難所を訪問し，疑似避難体験をすることで，より効果的な避難準備を行わせることを目標に入れている。その上で，第3学年で計画している，地域住民の一員として避難所を設営・運営する側に立った学習につなげていく。

第二に，主体的に学べるよう，地域社会との関わりを意識させながら，自分事として捉えさせる活動を仕組むことである。そのために，まずは避難行動を疑似体験させる防災教育教材である「避難行動訓練 EVAG」に取り組みせ，豪雨災害時の避難行動をシミュレーションさせる。その上で，実際に地域の指定避難所である熊野西防災交流センターの見学および避難所体験を行う。熊野町防災安全課の協力のもと，実際に避難所となる施設の中で活動させることによって，避難所で起こりうる事態を想定し，教室での学習内容と体験を結び付けて“自分事”として考察し，提案にまとめていけるような授業展開を

構想した。

第三に、表現力の育成に資する単元とすることである。「生徒の実態」に詳述したように、本学級の生徒には「表現力」について課題がある。そこで、本単元の学習は基本的に3～5人までの小グループを単位とし、自分の考えをもとにグループ内で話し合い、意見をすり合わせたりまとめたりする活動を中心に進めていくものとする。体験学習もグループを単位とし、コミュニケーションを取りながら協力・協働する活動を中心とする。また、スライドを使ってより多くの人に伝える活動を仕組んでいる。

単元の目標

日頃から災害に備える意識を涵養し行動するとともに、災害時には迅速に避難し、中学生の自分たちにできる最大限の方法で命を守る行動をとることができるようにする。

ア 防災・減災について、避難準備や避難行動、防災グッズに関する知識・技能を身に付け、日頃から災害に備える行動をとろうとしている。

イ 防災・減災について、自ら課題を見つけ、解決に必要な情報処理を適切に行い、表現を工夫して解決案を発表するとともに、見出した解決案を多面的多角的に検証している。

ウ 防災・減災について、自他の意見や考えの良さを生かしながら、課題解決に向けて協働して取り組もうとしている。

単元の評価規準

評価の観点	ア 【知識・技能】	イ 【思考・判断・表現】	ウ 【主体的に学習に取り組む態度】
本校で育成する 資質・能力	スキルアップ	表現力	協働
評価規準	防災・減災について、避難準備や避難行動、防災グッズに関する知識・技能を身に付け、日頃から災害に備える行動をとろうとしている。	防災・減災について、自ら課題を見つけ、解決に必要な情報処理を適切に行い、表現を工夫して解決案を発表するとともに、見出した解決案を多面的多角的に検証している。	防災・減災について、自他の意見や考えの良さを生かしながら、課題解決に向けて協働して取り組もうとしている。

本単元で目指す資質・能力のルーブリック

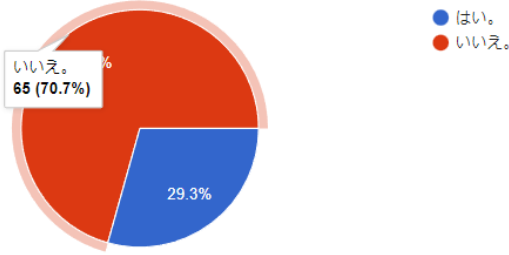
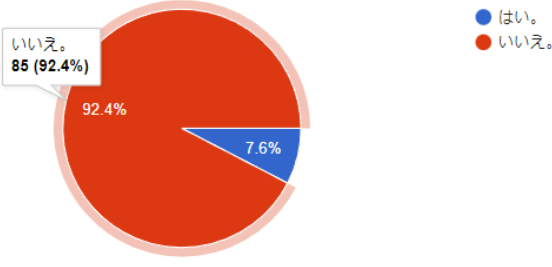
資質能力	Aの例	B	Bに到達させるための手立て
スキルアップ	防災・減災について、避難準備や避難行動、防災グッズに関する知識・技能を身に付け、日頃から災害に備える行動をとるとともに、知識や技能を更新しようとしている。	防災・減災について、避難準備や避難行動、防災グッズに関する知識・技能を身に付け、日頃から災害に備える行動をとろうとしている。	グループ内で考えを交流・共有させるとともに、情報を整理し、選択肢を示すことで支援する。
表現力	防災・減災について、自ら課題を見つけ、解決に必要な情報処理を適切に行い、表現を工夫して解決案を発表するとともに、見出した解決案を	防災・減災について、自ら課題を見つけ、解決に必要な情報処理を適切に行い、表現を工夫して解決案を発表するとともに、見出した解決案を	グループ内で考えを交流・共有させるとともに、ポイントを整理して示し、選択させることで支援する。

	多面的多角的に検証し、ブラッシュアップしている。	多面的多角的に検証している。	
協働	防災・減災について、自他の意見や考えの良さを生かしながら、課題解決に向けて協働して取り組み、よりよい解決策を導き出している。	防災・減災について、自他の意見や考えの良さを生かしながら、課題解決に向けて協働して取り組もうとしている。	グループのリーダーに活動の進め方についてアドバイスするとともに、注目すべきポイントを示すことで支援する。

指導と評価の計画

(全 15 時間)

次	学習内容 (時数)	評価												
		知技	思判表	主	評価規準 (評価方法)									
一	<p>課題の設定</p> <p>○総合ガイダンス</p> <p>(めあて) 2年生の総合的な学習の時間における防災・減災について理解し、今後の学習の見通しを持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> GoogleFormsによるアンケートを実施し、熊野町に避難指示が出た想定で、すぐに避難できるかどうか理由も併せて回答させる。 <p>※アンケート結果 (学年全体: 95 名回答, 一部抜粋)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>あなたは今自宅に1人です。大雨によって土砂災害の危険が高まり、熊野町に「避難指示」が出ました。あなたはすぐに避難できますか。</p> <p>95 件の回答</p> <table border="1"> <caption>避難準備に関するアンケート結果 (95名)</caption> <thead> <tr> <th>回答</th> <th>人数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>できない。</td> <td>83</td> <td>87.4%</td> </tr> <tr> <td>できる。</td> <td>12</td> <td>12.6%</td> </tr> </tbody> </table> </div>	回答	人数	割合	できない。	83	87.4%	できる。	12	12.6%	◎			ア (アンケート)
	回答	人数	割合											
できない。	83	87.4%												
できる。	12	12.6%												
	<ul style="list-style-type: none"> 避難の準備ができていないことを認識させ、再度 GoogleForms によってどの程度準備ができているかを問うアンケートに回答させる。 <p>※アンケート結果 (学年全体: 92 名回答, 一部抜粋)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>1. 自宅に非常用持ち出しバッグを準備している。</p> <p>92 件の回答</p> <table border="1"> <caption>非常用持ち出しバッグに関するアンケート結果 (92名)</caption> <thead> <tr> <th>回答</th> <th>人数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>いいえ。</td> <td>70</td> <td>76.1%</td> </tr> <tr> <td>はい。</td> <td>22</td> <td>23.9%</td> </tr> </tbody> </table> </div>	回答	人数	割合	いいえ。	70	76.1%	はい。	22	23.9%	◎			ア (アンケート)
回答	人数	割合												
いいえ。	70	76.1%												
はい。	22	23.9%												

	<p>2. 非常用持ち出しバッグの中身の準備をしたことがある。</p> <p>92 件の回答</p>  <p>3. 非常用持ち出しバッグの中身を定期的に見直している。</p> <p>92 件の回答</p>  <p>【探究課題】 マイ非常用持ち出しバッグをつくろう！</p> <p>(1 時間)</p>			<p>○ ウ (自己評価)</p>
<p>二</p>	<p>情報の収集 1</p> <p>○避難行動訓練 EVAG をやってみよう！</p> <p>(めあて) 避難行動訓練 EVAG を通して、避難行動をシミュレーションし、適切なタイミングや方法での避難行動について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豪雨災害時の避難行動をテーマにしたゲームを行う。 ・様々な事情を抱えた住人になりきって、避難のタイミングや方法を考える。 ・グループでの振り返りを通して、困ったことを共有し、解決の方法について検討する。 <p>(2 時間)</p>		<p>○</p> <p>◎</p>	<p>○ イ (観察, ワークシート)</p> <p>ウ (観察, 発表, 自己評価)</p>
<p>三</p>	<p>情報の収集 2・整理・分析・まとめ・表現</p> <p>○自分の非常用持ち出しバッグの中身を考えよう！</p> <p>～マイリストの作成～</p> <p>(めあて) 非常用持ち出しバッグの中身を考え、自他の意見を生かしながら必要なものをリストにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループでリストに入れるべきものを挙げ、整理する。 ・グループごとに「オススメ品」を 1つ挙げ、スライドにまとめて発表する。 ・各グループの「オススメ品」の発表も参考にして、「マイリスト」を完成させる。 <p>(・「マイリスト」にしたがって自宅で非常用持ち出しバッグを準備する。)</p> <p>(2 時間)</p>		<p>○</p> <p>◎</p>	<p>イ (発表, ワークシート)</p> <p>ウ (観察, ワークシート, 自己評価)</p>

四	<p>まとめ・表現・情報の収集3・整理・分析</p> <p>○準備したバッグを持って実際に避難所に行ってみよう！ ～指定避難所の熊野西防災交流センターの見学および 避難所体験～</p> <p>(めあて) 防災・減災についての知識や技能を身に付け、自分の考えを表現するとともに、意見を交流して考えを深める。</p> <p>・熊野西防災交流センター内を見学する。</p> <p>・避難者として避難所受付を体験する。</p> <p>・避難所用物資の活用方法を体験する。(マット、間仕切り)</p> <p>・停電・騒音時の避難を体験する。</p> <p>・準備してきたバッグの中身を交流する。</p> <p>・熊野町防災安全課より避難についての講話および非常用持ち出しバッグに関するワークショップを行う。</p> <p>・学習成果を振り返り、マイリストを更新する。(6時間)</p>	○			<p>ア(観察, ワークシート)</p> <p>○</p> <p>ウ(観察, ワークシート, 自己評価)</p> <p>○</p> <p>イ(発表, ワークシート)</p>
	<p>整理・分析・まとめ・表現</p> <p>○バッグの中身を練り直そう！ ～マイリストの更新&発表～</p> <p>(めあて) 避難所体験をふまえて、より役に立つバッグになるようリストを更新し、発表準備をする。</p> <p>・前時までの学習を振り返りながら、班ごとに非常用持ち出しバッグに共通して入れるものリストと、個人で必要なものを整理し直す。</p> <p>・班ごとに単元全体を振り返り、まとめる。</p> <p>・発表用スライドと原稿を分担して作成する。(2時間)</p>		◎		<p>イ(観察, ワークシート, スライド)</p> <p>○</p> <p>ウ(ワークシート, スライド, 自己評価)</p>
五	<p>まとめ・表現【本時】</p> <p>○アイデアを発表しよう！</p> <p>(めあて) 発表を通して、自ら表現するとともに、自分たちの提案を多面的多角的に検証する。</p> <p>・学級発表会を行い、グループでまとめた学習成果を発表する。</p> <p>・発表を聞いて考えたことを整理し、次時のまとめに備える。(1時間)</p>	○	◎		<p>イ(発表, ワークシート)</p> <p>○</p> <p>ウ(発表, コメント, 自己評価)</p> <p>ア(コメント, ワークシート, 自己評価)</p>
	<p>まとめ・表現</p> <p>○マイ非常用持ち出しバッグを完成させよう！</p> <p>(めあて) 各グループの発表を参考に、現時点でベストのマイリストを完成させ、学習を振り返る。</p> <p>・マイリストの最終版を完成させる。</p> <p>・学習全体をまとめ、振り返る。(1時間)</p>		◎		<p>ア(ワークシート, 自己評価)</p> <p>○</p> <p>ウ(ワークシート, 自己評価)</p>

本時の学習 (14/15 時間)

(1) 本時の目標

非常用持ち出しバッグに必要なものについて、これまでの学習を踏まえてわかりやすく伝えさせるとともに、他グループの発表を参考にして、自分たちの提案を多面的多角的に検証する。

(2) 本時の学習展開

学習活動	指導上の留意事項 (◇) 「努力を要する」状況と判断した生徒への手立て (◆)	評価規準 (評価方法)
1 導入 (3分)		
○本時のめあてを示し、前時までの学習をふまえ、各グループでまとめた内容を発表することを確認する。	◇わかりやすく伝えることと、他グループの発表を聞いてマイリストをよりよいものに更新することの両方を意識するよう伝える。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 本時のめあて 発表を通して、自ら表現するとともに、自分たちの提案を多面的多角的に検証する。 </div>		
2 展開1 (40分)		
○各グループでまとめた内容を発表する。	◇事前にスライド操作と発言者の役割分担をさせておく。 ◇発表間を1分取り各グループの提案について、タブレットからコメントを入力させる。 ◆タブレット操作のサポートをする。	イ (発表) ウ (発表, コメント) ア (コメント)
3 展開2 (5分)		
○各グループの発表を踏まえ、自分たちの提案を検証する。	◇発表内容およびこれまでの学習内容を整理し、次時のまとめに備える。 ◆時間がかかる生徒には、声掛けする。	イ (ワークシート)
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【「概ね満足できる」状況 (B) と判断する根拠】 防災・減災について、自ら課題を見つけ、解決に必要な情報処理を適切に行い、表現を工夫して解決案を発表するとともに、見出した解決案を多面的多角的に検証している。 </div>		
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 【「十分満足できる」状況 (A) と判断する根拠】 防災・減災について、自ら課題を見つけ、解決に必要な情報処理を適切に行い、表現を工夫して解決案を発表するとともに、見出した解決案を多面的多角的に検証し、ブラッシュアップしている。 </div>		
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 【「配慮を要する」状況 (C) と判断される生徒への手立て】 各グループの発表内容を振り返らせ、箇条書きで挙げさせる。 </div>		
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;"> 「表現力」のルーブリックを活用し、生徒の活動を見とる。 </div>		
4 まとめ (2分)		
○本時の学習のまとめをする。	◇めあてに対する本時の振り返りを自己評価カードに記入させる。	ア (自己評価) ウ (自己評価)

(3) 板書計画

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 本時のめあて 発表を通して、自ら表現するとともに、自分たちの提案を多面的多角的に検証する。 単元「マイ非常用持ち出しバッグをつくろう！」 ⑭ アイディアを発表しよう！～学級発表会～ </div>
--